

健康・美容の視点で学ぶ ハチミツと糖の事実

健康と美容を支える、人間の糖代謝の仕組み



健康と美容を支える「糖」



みんなが信じている“常識”

「糖は太る」「糖は血糖値を上げる」「糖は健康の敵」とされ、糖を抜いて、甘いものを避けて、我慢することが正解だと信じてきました。

しかし、もしそれが人間の設計を無視した考えだとしたら？

糖が足りていない現代人に起きている現実…

疲れやすい・イライラする・集中できない・眠れない・体重は落ちるのに元気がない
これは医学的に言う「好転反応」（体が良い方向へ変化している「回復のサイン」）ではなく、

体がエネルギー不足で悲鳴を上げているサイン なのです。

身体を構成するための三大栄養素

〈糖は生存に必須の燃料〉

人間が生きるために必要な栄養素 **糖質・脂質・タンパク質**。

その中でも **ブドウ糖**を最優先のエネルギー源 とするように

人間の体は設計されています。(そもそもブドウ糖なしでは動かない)

ブドウ糖が不足すると、肝臓に蓄えられている、

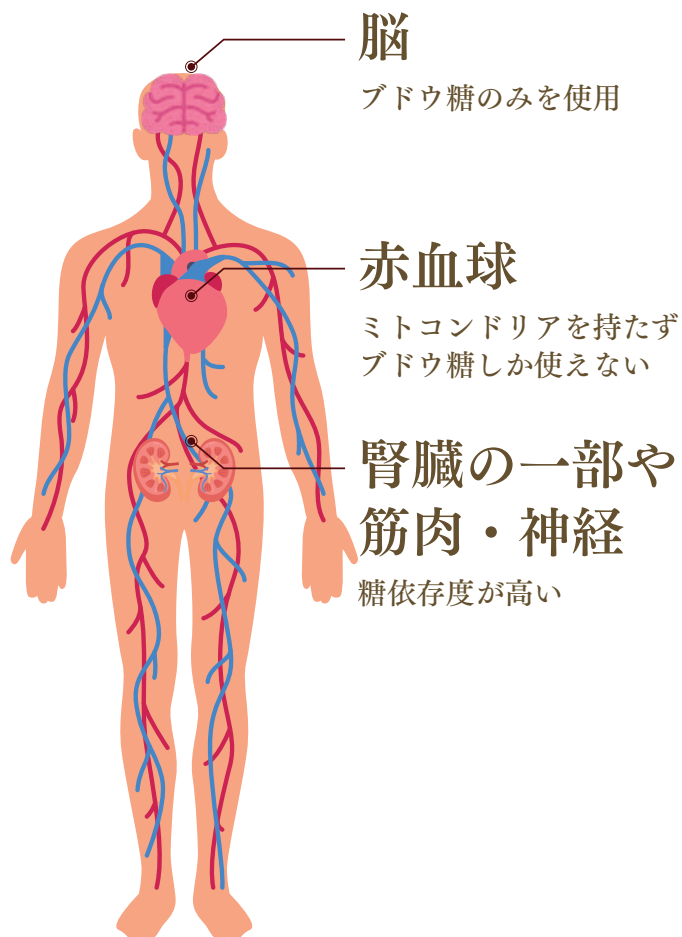
グリコーゲン (ブドウ糖の塊) を分解し始める。

それでも足りない場合は、

血糖値を一定に保つための重要な **生命維持機能** が働き

筋肉・脂肪・骨 を分解して

ブドウ糖を新しく作り出すプロセス (糖新生) が動き出します。



糖質制限（脂肪をエネルギーにする）が、危険になり得る理由

極端な糖質制限では、次の現象が起こります。

ブドウ糖不足＝ストレスホルモン増加



アドレナリン向上



コルチゾール向上

これにより、不安感、イライラ、睡眠障害
甲状腺機能低下が起こりやすくなる。

糖新生のために
筋肉・脂肪・骨が分解される



糖が不足すると、体は筋肉や脂肪、
場合によっては骨を分解してブドウ糖を作る。
(蛋白異化作用)

糖がないと体は“非常事態モード”（飢餓状態）に入る。

体重は減っても「痩せた」のではなく「削れた」状態になり、生命の危機。

ランドルサイクルとは何か？

Randle Cycle

〈エネルギーとして糖と脂肪は同時に使えない〉という代謝の法則。

【脂肪酸が多い状態】

= 糖の利用が抑制される



慢性的な疲れ、いつもイライラ
肌のくすみ、便秘、不眠症

【糖が十分にある状態】

= 脂肪の流入が抑制される



頭スッキリ、いつも余裕がある
肌きれい、ぐっすり寝れる

脂肪をたくさん使おうとすると、糖代謝がブロックされるという関係です。

糖質制限 × 高脂肪が起こす問題

糖質制限 = 糖が少なく脂肪が多い



※血中脂肪酸が常に高い状態 (リポリシス)

※血液中でエネルギー源や細胞の材料となる脂質成分



ランドルサイクルで糖が入っても使われない



※インスリン抵抗性が起きやすい

※インスリンが十分にあるにも関わらず、脂肪酸がインスリンの信号にうまく反応せず、糖を取り込めない状態



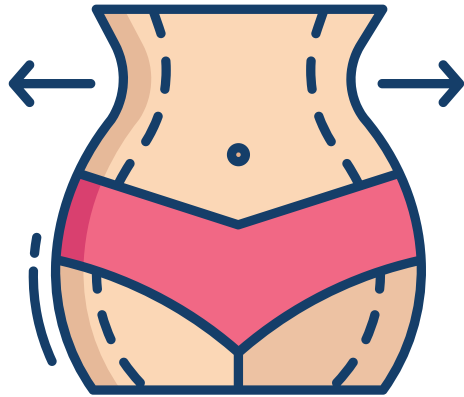
血中に糖が余る = 糖尿病など病気の原因に

「糖が悪い」のではなく、「糖以外のエネルギー代謝で糖が使えなくなる」のが問題です。

糖質制限は「美容」を壊す

ダイエットや健康のために「糖質」を抜くと一時的に体重は減るが
細胞レベルで「老け」が加速しています。

〈基礎代謝の低下〉



筋肉を分解してエネルギーを作ると、
甲状腺機能が低下し基礎代謝がガタ落ちします。
結果、「**食べないのに太る体**」になり、
リバウンドを引き起こします。

〈有害物質の蓄積〉



脂肪（特に植物油）をエネルギー源とすると
有害な「アルデヒド」が発生します。
これが、肌のシミや老化の
直接的な原因になります。

美しくなるためには、糖を制限するのではなく、
「質の高い糖を摂って代謝を回す」ことが不可欠です。

「脂肪」を分解してエネルギーになると…

エネルギー源の脂質が体内のタンパク質と結合し酸化する = 過酸化脂質 (ALEs)

肌・髪・爪などタンパク質で構成されている全身の組織に影響を与えます。

肌



乾燥、たるみ、弾力性の低下

脂肪層は肌のクッションや保湿にも関与しています。急激に脂肪が減ると、肌を支えていた土台がなくなり、たるみやシワが目立ちやすくなります。また、エネルギーが不足すると、新しい細胞の生成や皮脂の適切な分泌が滞り、乾燥しやすくなります。

髪



脱毛、薄毛、髪質の悪化

脂肪をエネルギーとして過度に利用する状態は、体に栄養不足やストレスがかかっているサインです。髪の毛の成長は生命維持に比べて優先度が低いため、栄養が不足すると休止期脱毛が起こりやすくなり、髪の毛の生成が遅れたり、細くなったりします。

爪



割れ、劣化、縦筋

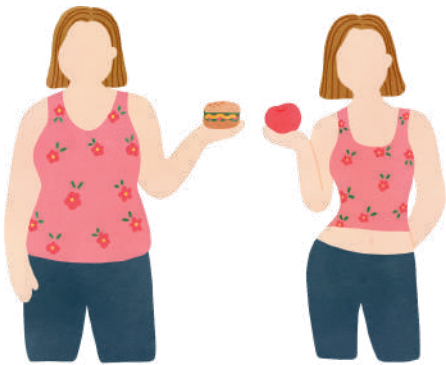
爪の主成分もタンパク質 (ケラチン) です。エネルギー源として脂肪を過度に利用するほどの栄養不足は、爪の成長に必要なミネラルやタンパク質の不足を招き、爪がもろくなったり、変形したりする原因になります。

施術をしても効果が出ないのは、脂肪をエネルギーにしている状態であることが多い！

美容の基本は「エネルギー代謝」にあります。

ハチミツは、細胞を活性化させて スリムな体へと導き、肌・髪・爪 を美しく保ちます。

〈ダイエット〉



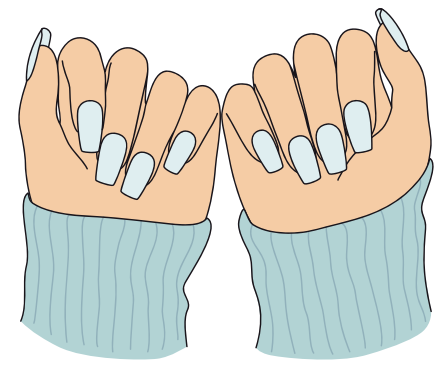
〈肌〉



〈髪〉



〈爪〉



ハチミツは体の代謝を上げ、内側から潤いを与える。
まさに「食べる美容液」

痩せやすく、リバウンドしない体へ

ハチミツは糖質制限とは **真逆** の、「代謝を上げて痩せる」アプローチを可能にします。

【基礎代謝の向上】

甲状腺機能を高め、エネルギー産生の要であるミトコンドリアを活性化させることで、**脂肪をデトックスしやすい体**を作ります。

【脂肪蓄積のブロック】

ハチミツに含まれるオリゴ糖が脂肪合成酵素の働きをブロックし、**脂肪細胞の増殖や、脂肪の取り込みを防ぎます**。

【食欲の自然なコントロール】

空腹ホルモン（グレリン）を抑制し、満腹ホルモン（ペプチドYY）を高めるため、**過剰な食欲**が抑えられます。

【脂肪細胞の小型化】

細胞実験では、ハチミツによって脂肪細胞内の脂肪滴サイズが**33.78%~70.36%も減少**したというデータがあります。

【果糖（フルクトース）の優位性】

ハチミツに含まれる果糖は、そのほとんどがエネルギーとして直接利用されるかブドウ糖に変換され、**脂肪になるのはわずか1%以下**の超マイナー経路です。

シミ、老化の原因 酸化脂肪（PUFA）の撃退

肌のシミや老化の正体は、体内に蓄積した ^{プーファ}酸化脂質（PUFA）にあります。

〈シミの正体〉



植物油などに含まれるPUFA（多価不飽和脂肪酸）が体内で酸化して「アルデヒド」となり、それがタンパク質などと結合してできる、副産物がシミ（リポフスチン）です。

この副産物（リポフスチン）は変性タンパク質であるため、体内の分解酵素でも分解ができず、一生体内に蓄積し続けてしまいます。



〈ハチミツの役割〉

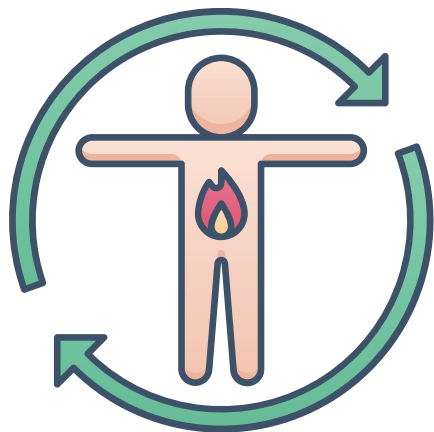


ハチミツで糖の代謝を高めることで、老化や肥満の原因となるPUFAを効率的に對外へ排出する手助けをします。

また美容には不可欠なミトコンドリアに、PUFAが生成するアルデヒドがダメージを与えてしまうため、ハチミツによる代謝改善は、このダメージを回避し、細胞の若返りをサポートします。

髪・爪の新陳代謝をスムーズに

髪や爪は、古いタンパク質が正しく分解され、新しいアミノ酸に作り替えることで維持されます。



〈タンパク質の新陳代謝〉

生命体には古いタンパク質を分解するタンパク質分解酵素（プロテアーゼ）が備わっており、これが新しい材料を提供します。

前項、PUFA由来のアルデヒドが、タンパク質に結合すると、この酵素による分解ができなくなり、新陳代謝が滞ります。



〈エネルギー源の供給〉

ハチミツは200種類以上の成分（アミノ酸、ビタミン、ミネラル等）を含み、タンパク質代謝を回すための最適な燃料となります。

他の甘味料との違い。なぜ「ハチミツ」なのか？

「カロリーゼロ」や「人工甘味料」は、美容と健康に深刻なダメージを与えます。



〈人工甘味料のリスク〉

アスパルテーム、スクラロース等は、腸内環境を悪化（リーキーガット等）させ、肝臓の炎症や慢性疾患を引き起こします。

これらは肥満や糖尿病の原因となるエンドトキシン（内毒素）を発生させるため、美容面では逆効果となります。

このエンドトキシンが肥満や糖尿病の原因となります。



〈ハチミツの安全性〉

ハチミツは糖尿病患者の臨床試験においても、体重減少や血糖値改善が認められている信頼性の高い食材です。

現在、スーパーやコンビニで販売されている清涼飲料水のほとんどに人工甘味料が入っています。

今後は、人工的な食糧危機に乗じて、人工甘味料が主流になり、砂糖やハチミツは希少な資源となっていくでしょう。

美容や健康における本質的な視点

本物の健康と美容とは

「代謝が回っている」「甲状腺が働いている」
「ストレスホルモンが低い」「筋肉が維持されている」
状態を作ることです。

【糖を断つ健康・美容法】



- ・体重は落ちる
- ・代謝も落ちる
- ・リバウンドしやすい
- ・肌荒れ、乾燥、揺らぎに直結する

【良質な糖を使う】



- ・代謝が回る
- ・脂肪を「排出」する環境が整う
- ・身体に負担なく体脂肪が減る
- ・全身の潤い、ハリ、くすみのサポート

「糖」は 太らせる のではなく 代謝を回し（健康） 身体を修復（美容）する味方になる。

結論

「糖は太る」「糖は血糖値を上げる」「糖は健康の敵」とされてきた糖ですが、
【糖＝悪】ではありません。

本来使われるはずの「糖のエネルギー代謝」を正常化し、
酸化した脂質の害から身を守ることで、

「リバウンドのないスリムな体」

「シミのない透明感のある肌」

「艶やかな髪と爪」

を、同時に手に入れるための

最もシンプルで強力な美容法です。

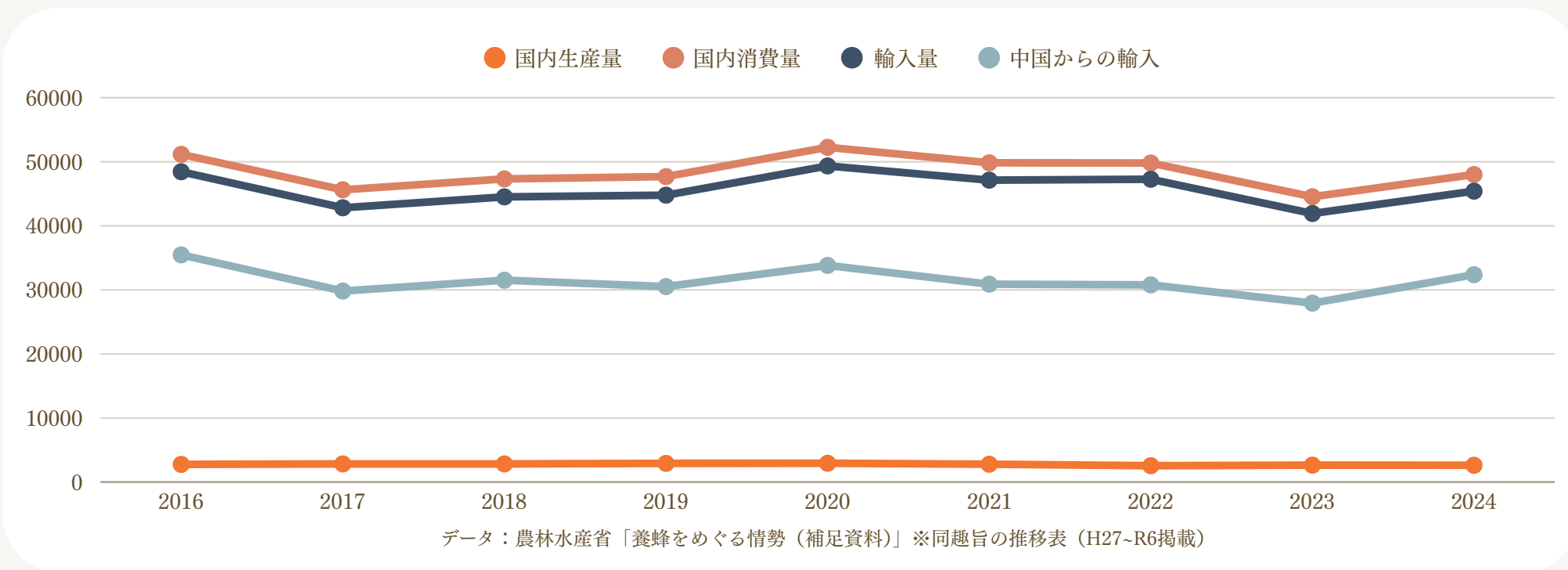
ただ、「本物」のハチミツを見分けるのは、
非常に困難だということを次項でお伝えいたします。

ハチミツ市場の現状

- ハチミツ市場分析
- 伸びるマヌカ市場
- ハチミツの残留農薬基準
- 国産ハチミツの安全基準の違い
- 大気、水源汚染の影響



ハチミツ市場（国内の生産量・輸入量・消費量）



POINT

- ・消費は増加基調
- ・供給は輸入依存
- ・輸入の約7割は中国

- ①：国内消費量は「4万トン台→5万トン台」規模へ（中長期で拡大）
- ②：輸入量が圧倒的に多い（国内供給は輸入で成り立っている）
- ③：国内生産量は「数千トン」にとどまり、非常に少ない
- ④：輸入の約7割は中国から輸入されている

輸入依存市場だからこそ、差別化するには、
「品質保証」と「トレーサビリティ」が重要。

伸びるマヌカ市場。問われる「本物」

①市場：日本での関心・需要は“回復～拡大”傾向

生活調査（※1）（11,817人）では
認知：約65%（食経験 約20% + 知っているが未経験 約45%）

→ すでに“市場として成立する認知母数”がある

国連貿易統計データベースを基にした、
ワールドバンクデータでは（右チャート）
2022年～2024年でマヌカの日本への輸入量・金額ともに増加。

→ 店頭でも“伸びるカテゴリ”として取組む価値が高い

（※2）本資料ではNZ→日本のはちみつフローを、需要トレンド把握の近似指標として提示。

②課題：需要増の一方で「偽物・表示違反」リスクが顕在化

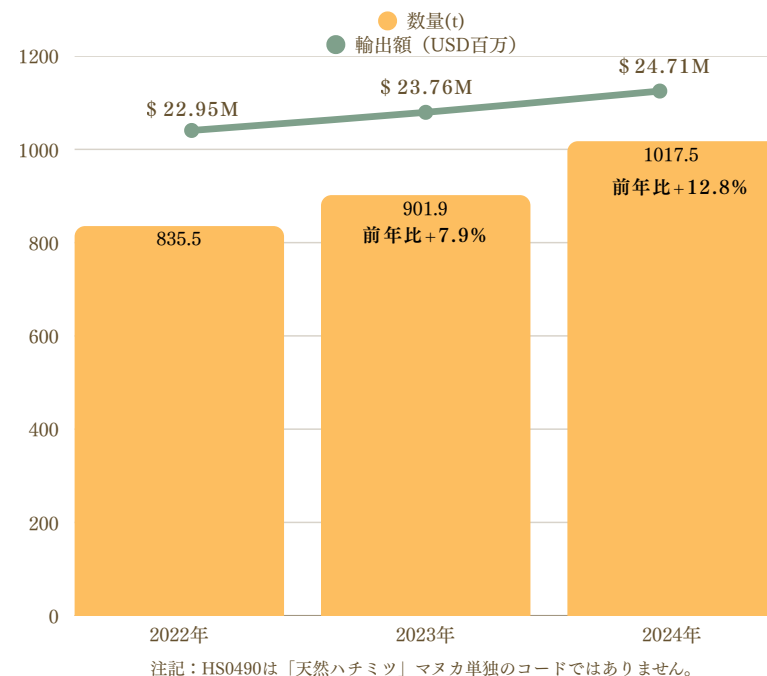
市場拡大に伴い、表示違反が続出し問題化。
業界が信頼確保に動いている旨の報道。

→ 今は「値段」よりも、“確かな品質が担保されているか”
が、取引条件になりやすい局面

（※1）PR TIMES（マヌカハニーに関するアンケート調査）

（※2）WITS（World Bank-UN Comtradeベース（NZ→日本）、natural honey /HS040900）

コロナ後直近3年で数量・金額ともに増加



「コロナ時代の免疫効果」で需要伸びる高級ハチミツ・マヌカハニー 浮上した偽物問題に自主規制で対処

2020/12/11 05:58

上妻英夫 (KIプレス)

クリップ

シェアする 36

ポスト

「世界で最も高級なハチミツ」「ハチミツの王様」として知られるマヌカハニーの市場拡大が続いている。コロナ禍で、抗菌作用を持つマヌカハニーへの消費者ニーズが高まっていることに起因している。このマヌカハニーで、表示違反が続出して問題になっており、業界は不適当な商品を規制することで消費者の信頼獲得に動いている。マヌカハニーを巡る新たな動きをレポートする。

ハチミツの残留農薬基準

現在、食品衛生法には、ハチミツは92の成分について、
残留基準値が設定されていますが…。

品目名	基準値(ppm)
アシノナビル	0.05
アセタミプリド	0.2
アミスルブロム	0.05
アミトラズ	0.2
アメトクトラジン	0.05
アンピシリン	0.05
イソキサチン	0.05
イソキサチン	0.05
イマタクトラジン	0.05
エトキサチン	0.05
エマキサチン	0.05
エンキサチン	0.05
オキサチン	0.05
オキシテトラサイクリン	0.3
カスガマイシン	0.05
カンタキサンチン	0.1
キザロホップエチル及びキザロホップPテフリル	0.05
キザロホップPテフリル(再掲/キザロホップエチル及びキザロホップPテフリル)	0.05
グリカルピラミド	0.03
グリホサート	0.05
クレンブテロール	N.D.
クロラントラニリプロール	0.05
クオルデン	0.002
クオルフルアズロン	0.05
クオルマジノン	0.002
酢酸トレンボロン	N.D.

体内に残りやすく、認知症や癌などの
リスクが指摘されている、
ネオニコチノイド系農薬の一つ。
EUの基準値0.05ppmの4倍の数値が
設定されている。

「違反かどうか」を判断するための法規制上の基準
基準 = “残留がゼロ”を意味するわけではない



需要拡大とともに品質が求められる中で、
国の基準値“だけ”に依存しません。
当社は、第三者機関に全ロット検査を依頼。
「品質保証」×「ロット単位での確認」により、
“安心して選べるハチミツ”を提供しています。

国産ハチミツの安全基準の違い

輸入ハチミツ

輸入のたびに検疫所に届出が必要。検疫所で審査し、必要に応じて、モニタリング検査や検査命令が実施される。

= 国内流通する前に、“水際”での届出・審査・モニタリング検査という仕組み。

国産ハチミツ

基本的に、事業者の自主管理で運用（一次責任）それに加え、自治体が市場等で収去（抜き取り）して検査

検査項目は存在するが、その枠内で安全性が確定されているハチミツが流通しているとは限らない。

区分	主な入り口	チェックの中心	特徴
輸入食品（輸入ハチミツなど）	検疫所への届出	審査+モニタリング検査+検査命令	水際の仕組みがある
国内流通（国産ハチミツなど）	国境なし	自主管理+自治体の収去検査（抜き取り）	全ロットではない

POINT

一概に、「国産は輸入品よりも安全である」とは言えない。

大気・水源汚染の影響

ミツバチの行動範囲



ハチミツは花蜜だけでなく、ミツバチが集める、水分や花粉などを経て作られます。つまり、空気・水・土壌・植物といった環境の影響を“まとめて”受けやすい性質を持っています。

だから私たちは、ハチミツが採れる環境がクリーンかを、巣箱から6km圏内で必ず確認します。

巣箱から6km圏内の

- ✓ 植物の種類 of 把握
- ✓ 農薬散布の畑がないか
- ✓ 大気汚染（黄砂）環境はないかなどを必ずチェックしています。
- ✓ 人の立ち入りやゴミの投棄はないか
- ✓ 川沿いの上流に工場等の施設はないか
- ✓ 車の往来はないか

AROMAFORIAの 採蜜ポリシーとお約束

- ・ ミツバチと共に生きる
- ・ 徹底した品質管理と5つの約束



私たちの採蜜のポリシー



「ミツバチと共に生きる養蜂」

私たちは“採る”のではなく、
“分けてもらっている”という考えで
蜂蜜を扱います。

蜂蜜はミツバチにとって大事な食料です。

養蜂家との信頼関係を構築し、
利益の為の過度な採蜜や、
ミツバチへの過度な介入を行わせません。
(人工シロップを与える・抗生剤の投与 など)

また、巣箱まわりの自然環境への投資も
(花を植える・農薬ゼロ地帯の確保 など)
積極的に行い、

ミツバチと人間が共存できる環境作りを
目指しています。

徹底した品質管理による「5つのお約束」

1

第三者機関による、成分分析を**全ロット**で実施

↳「基準値」ではなく「検出されない水準」を満たすハチミツだけを輸入

2

グリホサート・ネオニコチノイド系の農薬、抗生剤の**残留量ゼロ**を保証

↳ミツバチの生活圏6kmに農薬を散布された畑がないかもチェック

3

大気・水源汚染の可能性のある土地での蜂蜜は取り扱わない

↳黄砂被害や河川の上流に工場がないかも確認

4

非加熱処理ではちみつ**本来の栄養と風味**を保持

↳不純物を取り除くために、熱を加えて粘度を下げる等の処理を行わない

5

土地と植物の環境、採蜜方法、瓶詰め方法、検査結果の品質の維持

↳取引先と密にコミュニケーションをとり厳守いただく。**約束が守れない場合は取引停止**

取扱ブランド

- 13honey
- HONEY FOR LIFE



About 13honey



熱帯の大自然が育む、力強い生はちみつ。

「自然から分けてもらう」という思想のもと、森と花々の恵みをそのまま届けます。

マレーシアで20,000箱・15年以上の養蜂実績。

経験と設備投資、養蜂家の教育により安定した品質と風味を守っています。

私たちの原点は、「ミツバチに蜜を分けてもらう」養蜂。

無理に採らず、奪わない。

ミツバチを最優先に考える姿勢が、純度と力強さにつながっています。

About HONEY FOR LIFE



雄大なオーストラリアの自然が宿る、ピュアで安心なはちみつ。

太古のまま残るユーカリの森。

その清らかな環境が、澄んだ香りと奥行きある味わいを生み出します。

人の手がほとんど入らない貴重な自然の中で、

ミツバチが集めた蜜だからこそ生まれる唯一無二の風味。

さらに西オーストラリア州では、養蜂は州政府の厳格な管理下であり、
抗生物質ゼロ・外部持ち込み禁止の徹底した保全体制。

自然と制度、両方に守られた安心。

毎日の健康と、家族の食卓にふさわしい一瓶です。

ハチミツ接種の 重要ポイント

- 目的別、接種のタイミング
- + α の要素
- 効果的な1日のルーティーン
- MGOとTA+の組み合わせ



接種の重要ポイント

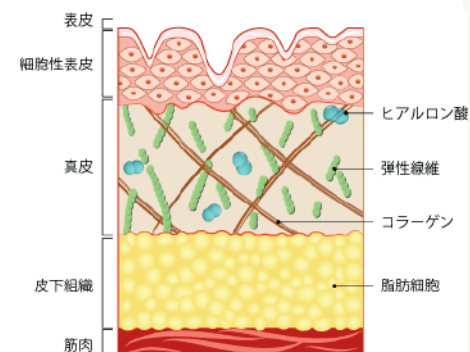
■糖代謝を最優先する

筋トレや美容において最も避けるべきは、エネルギー不足による**コルチゾールの分泌**です。

コルチゾールは、エネルギーを作るために

筋肉（タンパク質）や皮膚のコラーゲンを分解してしまいます。

ハチミツの糖（果糖とブドウ糖）は、**この分解（異化作用）を強力に抑制**します。



■塩分と一緒に摂る

糖が細胞に取り込まれ、エネルギー（ATP）として燃焼されるプロセスや、体内の水分バランスを維持するためには**ナトリウム（塩分）が不可欠**です。

ハチミツを摂取する際は、**良質な塩を少量加えることが推奨**されます。



■PUFA（多価不飽和脂肪酸）を避ける

植物油やオメガ3などの油（PUFA）は

糖代謝をブロックし**炎症を引き起こしてコラーゲンを破壊**します。

ハチミツの効果を出すには、これらを**徹底的に避けることが前提**です。



目的別、摂取のタイミングと効果

■筋トレ（筋肉維持・増強）

◇トレーニング前・中

↳ 糖代謝を高めることで、**筋肉の分解を防ぎ、持久力を向上**させます。

◇トレーニング後

↳ 運動によって肝臓や筋肉の糖が枯渇すると、体はストレス状態に陥ります。
果糖とブドウ糖が両方入っているハチミツは
肝臓のグリコーゲン回復速度を、それぞれ摂取するよりも**約2倍早める**ため、**迅速なりカバーに最適**です。



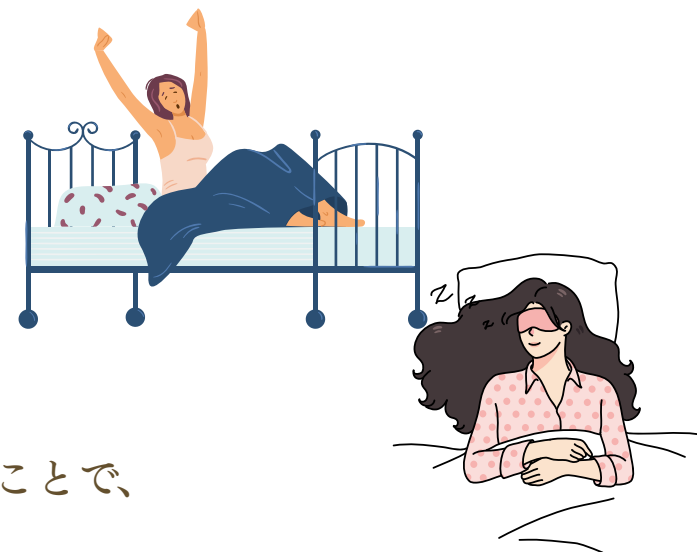
■美容（美肌・アンチエイジング）

◇朝・日中

↳ 低血糖状態は肌の修復機能を低下させ、**老化を早めます**。
こまめなハチミツ摂取により安定した血糖値を保つことで、**肌のターンオーバーに必要なエネルギーを確保**できます。

◇就寝前

↳ 夜間の低血糖は、睡眠中のコルチゾール上昇を招き、**筋肉や皮膚の分解を引き起こします**。寝る前にハチミツを摂ることで、睡眠中の**組織修復をサポートし、朝の目覚めを改善**します。



+ α の要素

■ コーヒーとハチミツ

↳ コーヒー（カフェイン）には、コラーゲンを溶かす酵素（MMP-1）を**ブロックする作用があります**。
筋トレ前や日中に「ハチミツを入れた濃いめのコーヒー」を飲むのは、
美容と代謝アップに非常に理に適っています。
代謝率を高め、運動パフォーマンスを向上させる。
エネルギー不足を防ぎつつ代謝を促進する理想的な組み合わせです。



■ ゼラチンの併用

↳ ハチミツと一緒にゼラチン（グリシン豊富）を摂ることで、
タンパク質組織（筋肉など）の分解を防ぎ、**抗炎症作用や安眠効果**をもたらします。
また、肌の弾力アップや腸内環境の改善にも寄与します。



■ ハチミツパック

↳ ハチミツは皮膚に直接塗布することで、その抗菌・抗炎症作用により、
傷の治癒を早め、皮膚の再生を促進することが科学的に証明されています。
ハチミツに含まれる成分が、**肌のバリア機能を高める助け**となります。
また、ハチミツは水分を保つ性質を持っているため、**保湿効果抜群**です。



効果的な1日のルーティーン

時間帯	摂取タイミング (推奨アクション)	推奨コンビネーション	目的
朝	起床後、朝食時 (15分の日光浴)	塩・フルーツ	体温上昇・代謝機動・エネルギーの充電
日中 (仕事・活動中)	こまめな補給	コーヒー	コラーゲン保護・代謝促進 肌修復エネルギーの確保
運動前・中・後	プレワークアウト時 運動中の水分補給時 ワークアウト終了時	塩	筋肉の分解防止 持久力・パフォーマンス向上 グリコーゲンの急速回復
夕方	夕食前後	グリシン・ボーンブロス	アミノ酸の補給・コラーゲン生成
夜	就寝前	暖かい飲み物・グリシン	夜間の低血糖防止 睡眠中の組織修復・安眠

ハチミツを一日の活動を通してこまめに摂取し、
太陽光や運動、PUFAフリーの食事と組み合わせることが、
最も効率的に筋肉と美肌を手に入れる方法です。

内側から満たされる美しさへ

MGO × TA+

(マヌカハニー)

(ジャラ・マリー・ブラックバット)

成分の特性を知り、今の自分に必要なアプローチを選ぶ。

MGO (マヌカハニー) 守る美容

“即効ケア・トラブル対処”

- ✓ 強い抗菌作用：メチルグリオキサールの抗菌性
- ✓ トラブルケア：ピロリ菌・口内炎・喉の炎症に
- ✓ 修復サポート：医療グレードでも使用される保護力

こんな時におすすめ

- ✓喉が痛い
- ✓胃腸が弱い
- ✓口内環境ケア
- ✓ニキビ・炎症

TA+ (ジャラ・マリー・ブラックバット) 育てる美容

“巡り・体質から整える”

- ✓ 継続的な抗菌：過酸化水素＋グルコース濃度の総合力
- ✓ 抗酸化作用：体の錆を防ぐエイジングケア
- ✓ ベースアップ：腸内環境サポートと免疫の底上げ

こんな時におすすめ

- ✓日常の健康維持
- ✓疲労回復
- ✓腸活
- ✓体質改善

COMBINATION 相乗効果



肌荒れしにくい状態へ



透明感・ツヤの向上



デトックス効果



腸内環境の安定



慢性的な炎症の軽減



代謝・免疫の底上げ

Daily Beauty Routine

1日のルーティン

起床・朝食



TA+

代謝スタート

ランチ後



TA+

継続サポート

就寝前



MGO

修復・回復

一時的ではない“続く美しさ”

用途別・最適グレードマップ

“数値の高さ”ではなく“使う目的への適合度”



MGO (マヌカハニー)

数値 = 抗菌の強さ

- ✓ 中～高度 : 刺激が強く日常使いに不向き
- ✓ 低～中度 : 体に合わせて選択。継続しやすい

TA+ (ジャラ・マリー・ブラックバット)

数値 = 総合的な活性力 (抗菌 + 抗酸化など)

- ✓ 単一の強さではない : バランスで評価
- ✓ 継続摂取 : 体内環境を整える

⇔ MGO/TA+換算目安

MGO	250+	800+	1000+	1250+	1600+	1900+	2250+
TA+	10+	20+	30+	40+	50+	60+	70+
グレード	Low		Med	High	Super	Ultra	

選び方のポイント

- ✓ 日常使いなら「低・中グレード」
継続できる味と価格のバランスが◎
- ✓ トラブル時は「高グレード」
短期間の集中ケアとして。
ここぞの場面です。

About Us

- 会社名 : 株式会社 AROMAFORIA JAPAN
- 設立 : 2024年4月
- 代表 : 有馬 護郎
- 住所 : 福岡市中央区大名1-4-35-901
- アドレス : info.japan@aromaforia.com
- 電話番号 : 092-731-5222

Our Business

1. ハチミツの輸入、卸、小売
2. 養蜂家への支援、品質管理
3. ハチミツに関する情報発信

シンガポールに本社、AROMAFORIA Pte Ltdを構え
創始2016年から、高品質な天然はちみつを
蜂蜜療法協会の会員様やハニーセラピスト様向けに
小売/卸売業を展開してまいりました。

日本国内で広く認知されるブランドへと成長するため、
日本支社として設立されたのが、AROMAFORIA JAPANです。

